

電子スピン共鳴、微粒子評価、 キャピラリー電気泳動の基礎と応用

【日時】 2018/11/15 (木) 13:00-17:00

【場所】 九州大学伊都キャンパス・工学部第4講義室 (西講義棟3階)

【主催】 九州大学中央分析センター

【共催】 九州大学ナノテクノロジープラットフォーム

【協力】 日本電子株式会社、大塚電子株式会社

13:00-14:30 電子スピン共鳴 (ESR) 法の原理と応用

電子スピン共鳴法の原理と装置について概説し、さまざまな分野での実用的なアプリケーション例をご紹介します。

14:40-15:55 粒子径・ゼータ電位・分子量の測定の基礎と応用

微粒子の評価には粒子径・ゼータ電位測定が欠かせなくなって来ております。この度は粒子径・ゼータ電位測定の基本原理から光散乱による高分子の分子量測定も含めアプリケーションもをご紹介します。

16:00-17:00 キャピラリー電気泳動装置の原理と応用について

キャピラリー電気泳動装置は液体クロマトグラフィー、イオンクロマトグラフィーに代わり、カラムを使用しない分離分析装置としてハンドリング的、コスト的にも非常に有用です。今回は測定原理とアプリケーションについてをご紹介します。

今回は、過去の分析基礎セミナーにおいて学ぶ機会がなかったテーマについて知識が得られる内容です。学内外どなたでもご参加できます。事前の参加登録にご協力をお願いします。

【問合せ・申込先】

九州大学中央分析センター伊都分室 渡辺 TEL092-802-2857
watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp